

投稿規定

1. 本誌の名称および目的

本誌の名称は、電子ジャーナル「消化器心身医学」(略名「消心身医」), 欧文名称 “Journal of Psychosomatic Medicine on Digestive Diseases” (略名 “J. Psychosom. Digest. Dis.”, 略号 JPDD)とし, 主として消化器領域における心身医学的論文を掲載し, この領域の進歩に寄与することを目的とする。

2. 投稿資格

原則として消化器心身医学研究会の会員に限る。ただし, 編集委員会で承認された場合はこの限りでない。

3. 掲載論文

- 1) 原則として総説, 原著, 症例報告, 短報, 経験などで, 他誌に未発表のもの。
- 2) 消化器心身医学研究会で発表した内容のプロシーディング。
その中で他誌に未発表のものは原著, 症例などとして論文投稿できる。
- 3) 倫理上問題のある論文は受け付けない。

4. 著作権

本誌に掲載された論文の著作権は, 本研究会に帰属する。

5. 論文の採否

編集委員会にて査読し決定する。査読の結果, 原稿の修正を求められた場合は1ヵ月以内に再提出すること。その際, 修正箇所はテンプレートに記録して作成する。1ヵ月を経過しても再提出されない場合は, 寄稿を取り下げたものとする。

6. 原稿の提出

- 1) 消化器心身医学研究会のホームページに掲載されている, 投稿論文のための Microsoft Word テンプレートをダウンロードして作成すること。
- 2) 原稿はテンプレートをベースに作成した Word ファイルを, メール添付または USB メモリーや CD-ROM などの電子媒体に保存して下記宛提出する。

なお, 電子媒体には, 使用 OS (Windows or Mac)・使用ソフトウェア (保存形式)・タイトル名・著者名・所属施設名等を明記する。

〒103-0028 東京都中央区八重洲 1-6-6 八重洲センタービル 3F

臨床医薬研究協会 消化器心身医学編集部

TEL:03-3510-7871

ri.toukou@rinsyo-iyaku.co.jp

7. 原稿執筆の手引き

- 1) 原稿の規定ページ数について

原稿は, すべて 8,000 字以内とし, 図表は 10 点以内にまとめる。

2) 原稿の作成に際して

投稿論文には、和文要旨、和文・英文タイトル、和文・英文著者名、およびキーワード(日本語と英語)を記載する。

原稿の文体は「である」調とし、常用漢字、新仮名づかい、および慣用医学用語を用い、なるべく平易な表現とする。

3) 表題および副題の付け方

原稿の表題は内容を明確に表現するもので、しかも簡潔なものが望まれる。また、必要に応じて副題を付けてもよいが、第1報、第2報という表現は極力避けるようにする。

4) 要旨の書き方

長さは400字以内で、途中で改行をしないで、本文と切り離してそれだけ読んでも、論文の内容が具体的に分かるように書く。また、本文中の図・表・文献は、引用しない。

5) キーワードの付け方

キーワードは、論文の内容を代表する重要な用語で、和文・英文で3語選ぶ。

6) 脚注の書き方

脚注は1ページ目の下部に本文との間に線を入れ、著者全員の英文名、所属機関名を書く。

7) 見出し(章、節、項)の付け方および書き方

本文は適宜、区分して見出しを付ける。体裁としては、章の前行は1行あけて書き、常に改行して記載する。書体はゴシック体とする。

8) 医学用語の書き方

医学用語は原則として日本語を用い、略語を用いる際は初出の時に説明する。

外国語、外国人名・地名は原語のまま活字体で書き、薬品名は一般名を用いる。商品名を用いるときはカタカナで()内に記載する。

9) 用いる単位について

単位は、原則としてCGS単位(g, mg, %など)を用いる。

10) 図および写真・表の作成に関して

1) 本文中では、図1、表1のようにゴシック体で書く。

2) 図表中の用語は和文・英文どちらでもよい。

3) 写真・図・表データがある場合は、本文データと併せて提出する。

表1 タイトル

タイトル1	タイトル2	タイトル3
コンテンツ1	コンテンツ2	コンテンツ3

11) 引用文献の書き方

文献は重要なものにとどめ、本文中の引用箇所¹⁾の右肩に小括弧¹⁾のように記載し、通し番号を付ける。本文末尾に1) …として、番号順にまとめて書く。また、日本語の文献を引用する場合は日本語表記とし、英語の文献を引用する場合は英語表記とする。

(記載例)

- 1) (雑誌)著者(3名以内, 他):論文名. 雑誌名, 巻数:頁-頁, 発行年.
- 2) (単行本)著者:表題, 書名(編者がある場合は編者名), 出版社, 地名, 発行年, 頁-頁.

8. 著者校正

初校1回とする。著者が再校を希望する場合、それにかかる費用は著者負担とする。

9. 投稿料

原則として無料。ただし、やむを得ず長さの制限を超過した投稿原稿は、超過ページ分の実費を著者負担とする。

10. 別刷

希望者には有料で申し受ける。

【テンプレートファイルについて】

テンプレートファイルは、上記の「消化器心身医学」投稿規程にのっとり原稿体裁を整えて投稿することができるようにスタイルファイルとして、フォントサイズなどの書式を設定し、登録している。1行の文字数、1ページの行数など定められた形式で作成することができる。

本文の文字数は、1ページ当たり、24文字×46行×2段組で2,208字とする。また、文章の区切りには全角の読点「,」(カンマ)と句点「。」を用いる。カッコも全角入力する。

本文中の文字の書式は、明朝体・Serif系(Century, Times New Roman など)を利用し、章節項については、ゴシック体を使用する。

テンプレートの表題、著者名、本文などはあらかじめ指定のフォントサイズなどの書式が設定されている。この書式を崩さずに入力すれば、文字数、行数など定められた体裁で論文を作成することができる。

なお、書式を崩してしまった場合は、崩れた段落箇所を選択して書式をクリアしてから、段落内にカーソルを置き、指定したいスタイルをクリックすると体裁を容易に整えることができる。

最終的な体裁は制作会社によって調整が加えられたものとなる。したがって、テンプレートは仕上がりイメージをみるためのものである。

以上

本誌へのご投稿をお待ちしております

「著作物利用許諾についてのお願い」

近年、医・薬学関連の書籍、雑誌を取り巻く環境が大きく変化し、本研究会へも誌面情報の電子化・ネットワーク化の強い要望をいただくことが多くなりました。そこで、本研究会といたしましては、読者からのご要望に答えるべく、過去に掲載された著作物の電子化、二次利用などに関する著作権の適正な管理・運用を目指し、次の通り手続きをさせていただくこととなりました。

すでに発行済みの第11巻第1号（平成16年4月発行）以前の本誌掲載の論文等につきましては、その利用に関わる著作権（※）を、本研究会に許諾されたものとさせていただきます。

また、第12巻第1号（平成17年4月発行）以降発行の著作物につきましては、「投稿規程」にて「4. 本誌に掲載された論文の著作権は本研究会に帰属する」とさせていただいておりますので、同様の扱いとさせていただきます。

著者先生におかれましては、なにとぞご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、この手続きは著作物の利用についての「許諾」であるため、著作権は全て著者のお手許でございます。

また、この「お願い」について、ご意見・ご質問等ございましたら、研究会事務局ないしは機関誌編集室宛にご連絡をお願いいたします。

※この項における著作権とは、複製権、公衆送信権、二次的著作物の利用に関する権利など、著作物の利用上必要な著作権。